

東京工芸大学中野キャンパスに新棟8号館が完成 —学生支援施設、基礎教育教員研究室などを設置—

東京工芸大学（学長：吉野弘章、以下、本学）芸術学部中野キャンパス（所在地：東京都中野区）に、「8号館」が2020年11月24日に完成しました。

この8号館は、地上3階建て、学生支援を行うために建てられた施設となります。

1階には、本学学生が芸術の基礎を勉強するうえで感じる質問や相談を、個別に対応するための学修サポートセンターや相談室が設置されます。アドバイスや相談対応は、芸術学部の基礎教育課程科目を担当する教員が行います。学修サポートセンターには、学生が自習できる空間が用意され、安心して学修に取り組める環境が整います。

なお、2階から3階には、芸術学部の基礎教育課程科目の授業を行う教員の研究室が入ります。

中野キャンパスは、1947年に小西六写真工業(株)（現：コニカミノルタ株式会社）社長の八代目杉浦六右衛門から、同社の総合研究所第一部の跡地を学校用地として提供されました。これ以来、本学はこの地を拠点としてメディア芸術の可能性を追究し続けています。

2019年4月、芸術学部全学年の就学地が中野キャンパスに集約されました。こうして実現した「メディア芸術のすべてを都心の1キャンパスで学べる唯一無二の大学」をさらに進化させるべく、本年3月には6号館が、11月には8号館が完成しています。

本学芸術学部は、国内外にメディア芸術を発信する先駆的教育・研究機関を目指し、この中野キャンパスを拠点に、さらに歴史を積み重ねていきます。

◆8号館概要

【フロアガイド】

3階：教員研究室

2階：教員研究室、会議室

1階：学修サポートセンター、相談室、

日本写真学会、日本画像学会

【建物概要】

延床面積：600.6㎡

着工日：2020年2月10日

竣工日：2020年11月24日



正面入り口外観



8号館入り口



1階学修サポートセンター入り口



2階教員研究室廊下

■東京工芸大学 芸術学部

1994年に設立（所在地：東京都中野区）。

写真学科、映像学科、デザイン学科、インタラクティブメディア学科、アニメーション学科、マンガ学科、ゲーム学科の7学科を有する。

2019年4月、芸術学部全学年の就学地が中野キャンパスに集約され、「メディア芸術のすべてを都心の1キャンパスで学べる唯一無二の大学」となる。

現在本学部には85名の教員が在籍し、設立以来社会のニーズに合わせたメディア芸術分野のプロフェッショナルを育成している。

本リリースに関するお問い合わせ

学校法人東京工芸大学 総務・企画課 広報担当 TEL:03-5371-2741 MAIL:university.pr@office.t-kougei.ac.jp